

豊庄だより



第 687 号 2021 年 11 月 22 日

福岡市早良区南庄 2-26-13
社会福祉法人林生会豊庄保育園
園長 西尾 達

「保育園の取材をお願いしたいのですが」という電話が入ったのは、先週の月曜日（11月15日）のことでした。「テーマは？」と聞きますと、「政府が、新型コロナウイルス禍を受けた経済政策を19日に発表します。その中に介護職、保育士、看護師等の賃上げが盛り込まれていて、保育の現場の声を取材したいのです。」という返答がありました。そういえば、数日前の新聞に、「保育士の給与を、(月額にして)3%、9000円上げる」という報道が載っていたのを思い出しました。「このことか！」と思い、引き受けることにしました。

取材日は11月18日（木）でした。テレビ局の記者は、一人の保育士の姿を追いかけていこうという考えを持っていて、その役目を白石先生にお願いしました。保育士の朝の出勤の様子から、登園してくる保護者と園児の受け入れ、朝の会、朝のおやつ、図書貸し出し、外遊び、給食・・・一日の保育の様子を伝える（といっても半日の取材でしたが）というものでした。



この日は週1回の本の貸出日でした。

取材の次の日の11月19日（金）、18時10分から始まるローカル番組（「ロクいち福岡」）で放送されました。トップニュースでした。放送時間はわずか2~3分でしたが、保育の様子を実に巧みにつなぎ、「編集の妙」と感心しました。この日はすみれ組がホールで生活発表会の劇の練習をしていました。その姿も登場しました。私と白石先生へのインタビューも入っていて、保育士の思いを話してくれました。私はたとえば、主張したいことの1割くらいしか話せなかったと少し後悔しています。取材の依頼があってから、何を話そうか考えました。3つありました。一つ目は、「3%、9000円」についての疑問です。「月収の3%が9000円」ということは、月収は30万円。これはおかしいと思い、内閣府や厚生労働省が出している資料を確かめました。すると、「30万」という数字は、は賞与の12分の1を加えた額であると記されていました。実際の額との違いは明白です。なぜこんな計算をしたのか、まだまだ処遇は改善されていないことを訴えようと思っていました。二つ目は、今回の賃上げは補正予算によるもので、一時的なものになるのではという点でした。来年の参議院選を見据えた選挙対策の一環ではと勘ぐってしまいます。恒久的な賃上げでないと困ります。財源はどうするのか？明らかにされていません。国民に新たな負担を強いての財源にならないこと、現在の保育園の運営費を削ってそれを振り替えるようなことになってもらっては、元も子もありません。三つ目は、今回の賃上げが、すべての保育園の職員を対象としてないことです。対象は保育士のみです。これも困ります。

このようなことを考え、インタビューに応じたのですが、記者の質問に答える形でなされたこともあったか、準備していたことをほとんど話すことができませんでした。残念です。「今日流れた保育園の様子を見られて分かると思います。保育士は一生懸命頑張っています。子どものために予算を組んでほしい！」というのが、私の精一杯の言葉でした。